

1回生

家政学の分野理解、基礎学力や情報処理能力などの習得

1年次では、学習の基礎となる学習習慣、言語能力、情報リテラシー、情報活用能力等を身につけ、生活文化や家政学の概要および各領域の基礎となる科目を学び、家政学の広い分野を知るとともに、将来の進路を展望する。

分野	前期	後期
家政学	● 家政学を学ぶ ● 家政学概論	
生活文化	● 衣生活文化論 ● 住生活文化論(教職) ■ 食生活文化論	
人間・生活・環境	● 色彩論(教職) ● 生活材料学(教職)	■ 生活科学基礎演習
被服科学		■ 繊維材料学
アパレル商品		■ 繊維製品品質管理
アパレルデザイン・造形	■ ファッションデザイン演習 ● アパレル造形学(教職)	■ テキスタイルCAD演習 ■ 基礎アパレル造形演習(前期又は後期)(教職)
住居・インテリアデザイン	■ 基礎製図演習 ● インテリアデザイン論	● 住居計画学 ■ インテリアデザイン実習 ■ 住空間設計実習
住環境学		■ 福祉住環境学(教職)
都市デザイン		■ 室内環境学 ■ 室内環境学実験
生活経営	● 生活経営学(教職)	■ 生活経済学(教職)
家族		● 家族関係学(教職) ■ 家庭福祉論
社会調査・プロジェクト	■ 生活情報処理(教職)	■ 社会調査法 ■ 社会組織論 ● 生活プロジェクト論
食物		■ 栄養学総論(教職) ■ 基礎調理学実習(教職)
家庭科教育		■ 家庭科指導法I(教職) ■ 家庭科指導法II(教職)



2回生

専門分野の基礎的な能力などの習得、深めたい専門分野を決める

2年次では、家政学の基礎科目の履修により専門分野の基礎的な能力を身につけるとともに、学生が自分の関心や進路に合わせて講義科目、実験・実習・演習科目を選択して履修を進める。後期に「被服デザイン科学」「住空間」「生活マネジメント」「家庭科教育」の履修モデルのなかから選択したモデルを申告する。

前期	後期
■ 人間生活 ■ 人間生活工学演習	■ 人間生活工学
■ 被服科学実験(教職) ■ 被服管理学(教職)	
■ 繊維製品品質管理	
■ 基礎アパレル造形演習(前期又は後期)(教職)	
● 住居計画学 (製図を含む)(教職) ■ 住空間設計実習	■ インテリアデザイン実習
	■ 福祉住環境学(教職)
	■ 室内環境学 ■ 室内環境学実験
	■ 都市デザイン論 ■ 都市デザイン実習
	■ 生活経済学(教職)
	● 家族関係学(教職) ■ 家庭福祉論
	■ 社会調査法 ■ 社会組織論 ● 生活プロジェクト論
	■ 栄養学総論(教職) ■ 基礎調理学実習(教職)
■ 家庭科指導法I(教職)	■ 家庭科指導法II(教職)

3回生

専門分野のより深い知識や技能の習得

3年次では、主として選択した履修モデルに対応した科目を中心に履修し、専門分野のより深い知識や技能の習得を目指す。また、後期からは配属された卒業研究のゼミごとに「卒業研究基礎演習」を履修して、研究方法や内容などを学び、4年次の卒業研究につなげる。

前期	後期
● フィールドワーク	● 卒業研究基礎演習
■ 和装文化演習	
■ 保育学(実習及び家庭看護学を含む)(教職)	● 公衆衛生学 ■ 家庭電気・機械(教職) ■ 生活環境学(教職)
■ 被服衛生学	
■ 基礎アパレルCAD演習 ■ アパレル造形演習	■ ファッションビジネス論 ■ アパレルCAD演習
■ 空間デザイン演習 ■ インテリアCAD入門	
	■ 室内環境学 ■ 室内環境学実験
	■ 都市デザイン論 ■ 都市デザイン実習
	■ パーソナルファイナンス論 ■ 生活マネジメント演習
	● 家族関係学(教職) ■ 家庭福祉論
	■ 生活プロジェクト演習
	■ 食品学総論(教職)
	■ (家庭科指導法III)(教職) ■ (家庭科指導法IV)(教職) ■ 教材開発研究(教職)

4回生

学びの集大成

4年次では、「卒業研究」を履修し、専門分野に関する研究に取り組む、学びの集大成とする。

通年
● 卒業研究



履修モデル例

- 被服デザイン科学
 - 住空間
 - 生活マネジメント
 - 家庭科教育
 - 共通必修科目
選択科目
- (家庭科指導法Ⅲと家庭科指導法Ⅳは、家政学科専門科目に含まない)

家政学科の学生として等しく必要不可欠な共通必修科目(14科目)以外は、すべて選択科目です。選択したモデルに対応する科目を中心にして、他のモデルに対応する科目も幅広く履修することもでき、学生がより主体的に学び、一人ひとりに合った学びができるカリキュラムです。